

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日
東

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所
 コード番号 5695 URL <http://www.powder-tech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲子 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 経営管理部長 (氏名) 倉持 正一 (TEL) 04-7145-5751
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,155	19.8	258	235.8	259	247.2	179	273.9
2021年3月期第1四半期	1,799	△35.1	76	△82.1	74	△82.3	48	△81.6

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 188百万円(289.2%) 2021年3月期第1四半期 48百万円(△81.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	61.96	—
2021年3月期第1四半期	16.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	13,928	11,697	84.0
2021年3月期	14,092	11,741	83.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 11,697百万円 2021年3月期 11,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	29.7	400	—	400	—	270	—	93.19
通期	9,300	20.7	1,000	271.7	1,000	261.0	720	318.6	248.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	2,970,000株	2021年3月期	2,970,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	72,800株	2021年3月期	72,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	2,897,200株	2021年3月期1Q	2,963,260株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、米国では景気支援策の効果も加わり個人消費を中心に伸びがみられ、欧州では活動制限の段階的な緩和を受け景気は回復に向かいました。中国では内需や輸出を中心に経済の回復が持続しました。日本国内では緊急事態宣言が再発出され、一旦は持ち直した個人消費に再び減速する動きが見られました。

このような状況の中、経済活動の回復やオフィスの活動再開を背景に複合機や商業用印刷機などの稼働も回復を続け、当社の主力製品であるキャリアの需要は前年同期比で増加に転じました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、観光やインバウンド需要の減少などの影響は続きましたが、前年同期に対しては増加に転じました。鉄粉につきましては、主要用途であるカイロ用が2年連続の暖冬による生産調整がほぼ終了し、前年同期を上回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比19.8%増加の2,155百万円となりました。

損益面では、主にキャリアの販売回復により、営業利益は258百万円（前年同期比235.8%増）、経常利益は259百万円（前年同期比247.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は179百万円（前年同期比273.9%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 機能性材料事業

当セグメントにおきましては、電子写真用キャリアの需要の回復により、売上高は1,772百万円（前年同期比18.1%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加により336百万円（前年同期比59.6%増）となりました。

② 鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品、鉄粉関連製品とも増販となり、売上高は383百万円（前年同期比28.3%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加とコストダウンにより26百万円（前年同期は24百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末とほぼ同額となり、固定資産は、有形固定資産の減価償却発生金額が設備投資金額を上回ったことなどにより、154百万円減少いたしました。以上により、総資産は163百万円減少し13,928百万円となりました。

負債は、主に流動負債の未払金の減少により、120百万円減少し2,230百万円となりました。

純資産は、四半期純利益で179百万円増加しましたが、配当金の支払い231百万円により、43百万円減少し11,697百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7%増加し84.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	289,733	325,033
受取手形及び売掛金	1,073,573	1,065,747
電子記録債権	728,719	732,247
商品及び製品	1,019,328	1,011,299
仕掛品	890,913	895,216
原材料及び貯蔵品	440,882	426,289
預け金	2,969,052	2,952,204
その他	22,299	17,261
貸倒引当金	△951	△948
流動資産合計	7,433,552	7,424,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,397,543	5,399,527
減価償却累計額	△3,093,789	△3,134,357
建物及び構築物（純額）	2,303,754	2,265,169
機械装置及び運搬具	10,877,503	10,887,212
減価償却累計額	△9,395,012	△9,535,274
機械装置及び運搬具（純額）	1,482,490	1,351,938
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	31,184	31,184
減価償却累計額	△24,174	△24,657
リース資産（純額）	7,009	6,527
建設仮勘定	656,817	663,953
その他	661,682	662,145
減価償却累計額	△597,406	△591,037
その他（純額）	64,276	71,107
有形固定資産合計	6,374,546	6,218,894
無形固定資産		
その他	30,414	28,920
無形固定資産合計	30,414	28,920
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
繰延税金資産	223,026	225,964
その他	21,295	20,757
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	253,521	255,921
固定資産合計	6,658,482	6,503,737
資産合計	14,092,035	13,928,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	820,941	849,559
リース債務	1,856	1,862
未払金	690,608	282,861
未払法人税等	39,067	91,730
未払事業所税	21,651	5,433
未払消費税等	19,850	96,260
賞与引当金	199,487	98,741
その他	122,653	372,634
流動負債合計	1,916,116	1,799,084
固定負債		
リース債務	4,990	4,522
長期未払金	10,257	10,257
退職給付に係る負債	418,375	415,305
その他	1,000	1,000
固定負債合計	434,623	431,085
負債合計	2,350,740	2,230,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	8,832,032	8,779,761
自己株式	△203,053	△203,053
株主資本合計	11,751,979	11,699,708
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,684	△1,787
その他の包括利益累計額合計	△10,684	△1,787
純資産合計	11,741,295	11,697,921
負債純資産合計	14,092,035	13,928,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,799,748	2,155,801
売上原価	1,357,378	1,554,345
売上総利益	442,369	601,455
販売費及び一般管理費	365,378	342,921
営業利益	76,991	258,534
営業外収益		
受取利息	3,154	2,502
その他	1,511	2,961
営業外収益合計	4,666	5,463
営業外費用		
支払利息	87	71
為替差損	2,949	183
債権売却損	3,410	3,375
その他	398	619
営業外費用合計	6,845	4,250
経常利益	74,811	259,747
特別損失		
固定資産処分損	3,686	156
特別損失合計	3,686	156
税金等調整前四半期純利益	71,125	259,591
法人税等	23,121	80,086
四半期純利益	48,003	179,505
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,003	179,505

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	48,003	179,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	-
為替換算調整勘定	143	8,896
その他の包括利益合計	409	8,896
四半期包括利益	48,413	188,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,413	188,401

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、輸出販売については船積み時に収益を認識しておりましたが、貿易上の諸条件等に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。なお、国内販売については、製品の出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

- ・「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,500,949	298,798	1,799,748	—	1,799,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,500,949	298,798	1,799,748	—	1,799,748
セグメント利益又は損失(△)	211,020	△24,068	186,952	△109,961	76,991

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△109,961千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,748千円及び棚卸資産の調整額△213千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、「キャリア事業」としていた報告セグメントの名称を、電子写真用キャリア以外の新規市場向け新製品が立ち上がったことなどから、より適切に事業内容を表すよう「機能性材料事業」に変更いたしました。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,772,414	383,386	2,155,801	—	2,155,801
外部顧客への売上高	1,772,414	383,386	2,155,801	—	2,155,801
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,772,414	383,386	2,155,801	—	2,155,801
セグメント利益	336,796	26,411	363,207	△104,673	258,534

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△104,673千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,891千円及び棚卸資産の調整額△782千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 会計方針の変更に記載の通り、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による報告セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。